

## 市長と語ろう地域ミーティング〔 東地区 〕会議録

開催日時 平成21年 5月27日(水) 午後7時30分～9時10分

会場 武生東公民館 3階 ホール

出席者(地区) 90人

(市側) 市長

福祉保健部長 総務部理事 維持管理課長

都市計画課長 長寿福祉課長

中心市街地活性化推進室長 まちなか観光推進室長

企画部政策幹 総務部政策幹 建設部政策幹

進行 市民自治推進課長

記録 市民自治推進課 主幹

担当 (財務課) 主幹、(秘書広報課) 主幹

### 市民憲章の唱和

東地区自治振興会会長 あいさつ

こんばんは。本日は、お仕事などで大変お疲れのところ、地区の皆さんには数多くお越し頂き、このミーティングが盛大に開催されますことを、まずもってお礼を申し上げます。

また今日は、大変ご多忙の中、東地区の方へ市長をはじめ市の幹部の方々にも多数お出で頂き、地域ミーティングが開催できますことに、心から厚くお礼を申し上げます。

例年開催をされていますこの地域ミーティング、非常に年々盛り上がりを見せていると思っております。特にこの東地区は、高齢化を迎える典型的な地区だと思っており、今、市長も地方分権、行財政構造改革など、それぞれを遂行する中で、非常に厳しい状況におかれていると思っております。

もうひとつは、100年来といわれる不況の波がどんと押し寄せている情勢にあります。またひとつ輪をかけましたのは、新型インフルエンザの対応問題でございます。われわれ市民といたしましても、これからの方向がどうなるのか、正直不安の中にあるわけでございます。市長においては、特に新型インフルエンザの対応につきまして、早く的確に市の方針をお決め頂きまして、市民のそれぞれの健康不安を払拭するというので、我々に対する通知等を出していただいておりますし、今日もいろいろとご説明があると思っております。また、この東地区におきましても、それぞれまちづくりを中心とした幾つかの課題を抱えていると思っております。

今日は、そういう意味を含めて、いろいろと市の方針をお聞きしながら、市長と膝を交えて皆さん方が一言でも意見を言ってもらって、これからの地区づくりをどうするか、また、これから市と自治振興会が協働して物事を進めていかなど議論頂き、本日の地域ミーティングが成功裏に終了できます事をお願いいたします。開会のご挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

市長あいさつおよび説明

(別添資料参照)

## 意見交換

### 【代表質問】

Q1: 振興会事務局長

< 道路、橋、福鉄新駅の進捗、将来計画について >

今回は町内単位の課題ではなく、地区全体の大きなテーマということで、5点質問させていただきます。

まず、政策・施策について2件ございます。1件は北府地区からでございますが、北府地区・家久地区を併せて道路、橋、福鉄の新駅など、いつを目処に、どの程度まで進んでいるか、今後の方針などについて示して頂きたいと思えます。

A1: 都市計画課長

「戸谷片屋線」につきましては、清掃センターとガス基地の間の道から日野川に橋を架け、武生高校から鯖江方面へ南北に伸びる「鳥羽中芦山線」と交わる場所までの工事が進んでいます。来年の今頃には通れるようになると県から聞いております。

また、西の方に向かっては、福武線、JRを渡り、吉野瀬川の桜橋へとつながり、県民生協「ハーツ」の方まで延びるということで、去年の秋から桜橋の橋台の工事に入っていますし、福武線のところまで橋脚が姿を出しています。今年度は、JRと日野川左岸道の区間も工事を始めると県から聞いており、福武線、JRの高架につきましては、平成24年度完成を目指していると聞いています。なお、桜橋は付け替えとなります。

それから、吉野瀬川の改修工事が「戸谷片屋線」の北側、商業高校の近くで始まっています。それに伴い、福武線家久駅前の大正橋が付け替えになります。吉野瀬川と日野川の合流点から家久駅までは今後6~7年かかると県から聞いているところです。

A1-1: 市長

福武線の新駅は、これから10年間で武生から福井までの間に4つ出来ることになっています。そのうち2つが越前市内に造られるということになります。1つは西武生駅と家久駅の間、戸谷片屋線が高架となって福武線を跨ぐその真下に新しい駅が出来ます。ちょうど福武線の屋根に戸谷片屋線がなる訳です。この駅については、来年の春までに造ると聞いていますので、4つ造られる駅の中で一番早く、来年の春までに完成します。

もう1つの駅は、家久駅と上鯖江駅の間、具体的には武生商業高校と福井高専の間で生徒が通学しやすい所に駅が出来ることになるわけですが、この工事は、先ほど説明のあった吉野瀬川の改修工事が終わらないと工事が出来ません。吉野瀬川の改修工事が、まだ6~7年かかると聞いていますので、この工事が終わり次第、商業と高専の生徒が通学しやすい場所に新しい駅が出来ることになります。

なお、西武生駅のアクセスを向上させる計画もあります。今、スクランブル交差点がネックとなっていると思えますが、県の方で交差点改良を進めて頂くことになっています。このスクランブル交差点の改良が終わりますと、その周辺の利便性が向上すると思えます。

市といたしましても、十分連携を図りながら事業の促進に努めていきたいと思えます。

Q2: 振興会事務局長

< 高齢化社会での限界集落への対応 >

高齢化社会が急速に進んでいます。私が住んでいる町内も例にもれず、高齢化が進んでおり、現在は限界集落の一手手前の準限界集落の段階と思われます。

これは当町内の問題だけではなく東地区、あるいは市全体で同様のことが見受けられると思われます。5年、10年後には町内、地区の活動にも障害が出てくるのではないかと危惧しています。

このような中で、現在越前市が実施している高齢化対策、将来の高齢化に対する越前市の考え方を教えてください。

A2: 長寿福祉課長

< 高齢化社会での限界集落への対応 >

限界集落の定義は、65歳以上の人口比率が50%以上とされていますが、中山間地や離島などの社会的インフラの脆弱な地域を前提としているもので、東地区のように歩いていける範囲内に、市役所、JRや私鉄の駅、大きなショッピングセンターが存在している場合は、限界集落に該当しないと認識しております。

それ以上に、東地区は、市内17地区の中で、高齢者が生活する上で最も利便性の高い地区であると思っています。

今後、少子高齢化の中で高齢者の比率はますます高くなると予想されます。市としましては、高齢者に対する福祉サービスや介護保険サービス等の充実や地域との連携を図り、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めていくことが重要であると考えています。

そのため、市、民生児童委員、地区自治振興会の皆さん、社会福祉協議会や地域包括支援センター等が連携を強化し、地域活動の維持、発展に努めてまいりたいと考えています。

また、介護予防事業として実施されている「いきいきふれあいのつどい」、「いきいき運動広場」などへの積極的な参加や、老人クラブへの加入もお勧めします。

各種事業や老人クラブなどへの参加による人と人とのつながりが、地域で生活する上での安全・安心につながります。

今後も、高齢者が安心して暮らせる環境づくりに努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

Q3: 振興会事務局長

< 趣前市は「越前おろしそば」発祥の地。全国へPR「越前おろしそば課(係)」を市役所に作ったらどうか。 >

越前市は「越前おろしそば」発祥の地です。そこで、市役所の中に「越前おろしそば課」を作ったらどうかという提案です。

「越前おろしそば」は、府中初代藩主本多富正公が奨励したと言われていています。越前市内には「越前紙漉き」「花筐公園」「越前の里」など全国的に誇れる史跡があり、旧市内にも「蔵の辻」「たんす町」「いわさきちひろの生まれた家」等があり、観光客も少しずつ増えて来ていますが、何か物足りなさを感じます。全国的にも「食文化」をPRしてにぎわっている所があります。

東地区は、特に市役所のある所は本多公の居城があったところで、「越前おろしそば」の発祥地として看板をつくり、越前市のホームページにも取り込み、発信してマスコミにもアピールしてPRしたらどうでしょうか。丹波篠山市では「丹波黒まめ課」があり、課長もいて黒豆の宣伝につとめています。越前市においても「観光振興課」内に「越前おろしそば係」を創設して、おろしそばの食べられる食堂やそば道場の紹介、

おろしそばの史料の展示、できれば「そば打ち道具一式」を揃え、出前講座等で「そば打ち」の指導ができる態勢をとったらいかがでしょうか。

越前市で「そば打ち全国大会」を開催するのも良いのではないかと思います。現に出石では、「ソバ」で遠方から観光客が来ている例もございます。

#### A3: まちなか観光推進室

「越前おろしそば」につきましては、越前市を代表する「食」の一つであり、歴史と味を兼ね備えた全国に誇れる「健康食」であると考えています。

市では昨年、おろしそばが食べられる市内の店舗や、そば打ちが体験できる施設を紹介するパンフレットを作成し、「JR 武生駅」やセンチュリープラザの「観光・匠の技案内所」、あるいは「まちなかプラザ」などに配布し、多くの皆様にご活用いただいています。

また、現在、大変集客力がある「越前そばの里」とも連携し、まちなか観光と組み合わせた旅行プランなどを積極的に旅行エージェントに売り込みを行っており、4月から5月にかけて、今日までの間にまちなかだけですが、バスが29台で950人、二日に1台の割合で観光バスが越前市を訪れています。

こういった旅行エージェントへの働きかけが功を奏していると考えていますし、そういった人達にそばのPRを行っているところです。

さらに、そば打ち体験の件ですが、現在、若手農業者のグループである「営農協議会ふれあい会」と市が協働し、小学校や幼稚園、保育園を対象にそば打ち体験に出向いているところです。そば打ちの道具につきましても、市農政課で希望する団体に対して無料で貸し出しを行っています。

今後も、ご提案の内容を十分に含め、越前おろしそばの全国向けの効果的なPR方法について、研究してまいりたいと思います。

#### Q4: 振興会事務局長

< 日野川河川敷内の樹木整理について >

現在、河川敷内の樹木については、豊橋の上流近辺から帆山橋上流近辺までが今年伐採されました。丹南土木事務所で聞きましたところ、野鳥の会との話し合いで伐採箇所の了解が得られ伐採されたそうです。

本年2月には東地区で知事との「座布団集会」が開かれ、河川敷の樹木の整理を要請したところ、伐採については前向きと言う見解を示されています。しかし、野鳥の会との話し合いでは伐採は進んでいません。

日野川の上流にダムはあるものの、ダムの下流に集中豪雨が多発することも考えられます。足羽川はん濫の再来がいつあるかわからないと言う危惧があります。河川敷の管理は国、県の範疇ですが、越前市としても声を大にして、県に要請していただきたいと思います。

#### A4: 維持管理課長

日野川の河川管理は県が行っていますので、「河川災害の未然防止対策について」とのタイトルで、市の重要要望として県へ提出するとともに、直接、丹南土木事務所へ出向き、日野川をはじめ市内を流れる主要河川の堆積している土砂の撤去、あるいは草木の伐採についての要望を、数年前より継続して強く行ってきたところです。

これに対し、県からは「財政状況が非常に厳しいなかで、危険性・緊急性が高い所から対応していきたい」との回答を得ており、平成 20 年度は、帆山橋上流約100m地点から下流の万代町東保育園あたりまでの延長約1km、面積にして約7,100㎡の草木の伐採を実施していただいたところです。今後の予定については、やはり野鳥の会、漁業組合等との調整がどうしても必要であるという事で、「具体的な提示はできないけれども、日野川右岸側も含めて検討していきたい」との回答を県からいただいていますので、今後とも継続した事業の実施について、引き続き県へ強く要望してまいります。ご理解をお願いいたします。

Q5: 振興会事務局長

< 中心市街地にぎわい創出事業内イルミネーション事業について >

中心市街地のにぎわい創出事業の一環としてイルミネーション事業に、東地区でも公民館壁面を利用し一昨年から参加していますが、企業の参加も少なく盛り上がり欠けている現状だと思います。

駅前からの通りのイルミネーションは別として、市庁舎の前の大きな樹木のみ装飾されていますが、市庁舎の壁面を利用した展開は如何でしょうか。市の職員さんや一般人に呼びかけプロジェクトチームを編成して、年々積み重ねてはどうでしょうか。業者に依頼すれば設置しても金、取り外しても金ですが、ボランティアの創意工夫でやれば負担も多くはないと思います。

特に市の職員さんが手弁当で参加することは、地域自治を進める上での大きな励みであると思います。協働精神に基づくものと考えますので、職員への呼びかけを是非、考えていただきたいです。

A5: 中心市街地活性化推進室長

イルミネーション事業については、「たけふ冬のイルミネーション事業」として、冬のまちなかに賑わいを創出していこう、そして、来訪者や市民に、楽しく美しい魅力あるまちのイメージを演出し、併せて、クリスマス・年末年始商戦の活性化を図るため、平成19年度から実施しているものです。

昨年度は、11月28日から2月28日まで約90日間、3ヵ月間ぐらい実施したところです。この事業は、東地区自治振興会の皆さんには本当に多大なるご協力いただき、大変感謝しております。皆さんは東地区の方々なので既に分かっておられると思いますが、イルミネーションは、駅前のシンボルから市役所前の中央分離帯を通り、市役所の大きなヒマラヤスギ、そこから蔵の辻まで、皆さんの協力を頂きながら実施しているところです。特に、近隣の事業所、JR武生駅やパレスホテル、福井銀行は企業としてイルミネーションを設置して頂いています。

それから、昨年は新たな取組みとして、まちなか賑わいの中核である「蔵の辻」への、イルミネーションの集中とライトアップを実施したところです。これについては、多くの方から賞賛を頂き、マスコミにもどんどんと取り上げられたという経緯があります。

この「蔵の辻」での取組みは、基本的にまちづくりセンターが中心となり、各種団体に呼びかけ「たけふ冬のイルミネーション推進委員会」を組織し協議を重ねて、推進委員自らが直接企業を訪問し、この趣旨に賛同いただき企業31社の協賛金によって実施したということです。

今年度の具体的な事業内容は未定ですが、昨年度の事業成功を支えていただいた推進委員会を今年度も設置し、より多くの市民の方とともに、人の輪を広げていきたいと考えています。

それから庁舎本体へのイルミネーションの設置という提案につきましても、今後、推進委員会へ提案してまいりたいと思います。

また、市の職員に対しても積極的な参加を呼びかけて、市民の皆さんとともにこの事業を盛り上げていきたいと考えていますので、ご理解をよろしく願います。

( 中心市街地パンフレット及びイベントマップのPRあり)

【一般質問】

Q6: 錦町区長

< 主要地方道小曾原武生線の整備について >

まず、日野川の県道小曾原武生線の旧商工会議所前、7つの道路が交差しているところです。この7差路の交差点が大変危険で、今までに何度と無く、県土木、市役所、警察等へ現地の状況を訴えてまいりましたが、結論が出ないままとなっています。抜本的な改善をして頂きたい。

次に、これに伴う地下道(JR 下の人道)ですが、福武線武生新駅横の JR 地下道のように、楽に渡れる地下道として頂きたい。近年高齢化による社会現象で、地元市民から強い要望が出ていますので、よろしくをお願いします。

また、武生駅東側の市道からループの陸橋の下を、限定車両でも良いので、車が堀川町へ通り抜け出来るように改良していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

A6: 都市計画課課長

現在までに、市としましても県や警察などと協議を進めてきましたが、残念ながら7差路の交差点において信号機の制御は不可能であり、安全の向上には、一方通行や右折禁止等の通行規制が必要になると考えられます。

一方で、こうした通行規制については県道への出入りが不便になる面もありますので、地元の皆様やドライバーの理解が不可欠です。抜本的な改善というご要望ですが、今のところ安全かつ効果的な改善方法は見つからないのが現状で、今後とも課題として認識して、関係機関と対応を協議してまいります。

また、福武線武生新駅の JR 地下道は、取り付け道路よりも線路が高い位置(約 1.5m)にあるので高低差が少なく、その分だけ楽に渡れます。一方、県道の地下道の勾配をもっと緩くするには距離が必要で、出入口など構造的な制約の中での対応は困難と県から聞いています。

なお、通り抜けについては、ループ下の地下道出入口の直前を自動車が横切ることになりますので、歩行者や自転車の安全確保の面から困難であると考えます。

Q7: 自治振興会安全防災部長

< 自警隊の練習に伴う消火栓の使用について >

東地区では自主防災組織が 19 町内のうち 18 町内で組織化され、自警隊はその中核となっており、その訓練で小型動力ポンプによる消火訓練をしています。しかし、東地区では訓練で使用できる川が無く、ほとんどが暗渠であるため、消火栓を訓練で使用させていただきたい。

以前から中消防署にも要望しているが、消火栓は上水道であるため良い返事はもらえていません。是非、市において前向きな取組みをお願いします。

A7: 総務部政策幹

確かに、街中には水利がない状況は存じています。

しかし、消火栓は水道部所管ですので、その使用について、この場ではっきりとしたお答えは出来ません。所管課に確認して、後日、会長さんを通じてお答えさせていただきますので、よろしくをお願いします。

【後日回答】 担当課:防災安全課、水道課、消防組合

消火栓の使用許可申請は、南越消防組合で受け付けていますが、消火栓を使用した場合、流域の水道水が濁り、区域住民に迷惑が及ぶ恐れがあるため、消防署員立会いのもとで行う訓練等を除き、原則としてその使用を認めていません。

なお、防災訓練の際には、消防署に申し出でいただくことにより、簡易型水槽の貸し出しや給水等について協力が得られますので、ご利用いただきたいと思います。

今後も、安全安心のまちづくりのため、地域防災活動を推進していただきますよう、よろしくお願いいたします。

Q8:幸町区長

<都市計画開発推進事業について>

中心市街地活性化ということで、市の方ではソフト面も含めて精力的に取り組まされており、敬意を表します。幸町の一角ですが、銀泉書店の周辺で都市計画の開発があるやに聞いています。もしあれば、どのような計画かご説明をお願いします。

また、あの周辺は空き地や駐車場が増えていますが、それらについて市街地活性化ということで、何か今後、考えがあるかどうか、お聞きしたいと思います。

二点目として、有明交番が移転するという話を聞いています。町の治安面で移転して欲しくないという町民の意見があります。この件につきまして、何か情報があれば、お聞きしたいと思います。

A8-1:中心市街地活性化推進室長

ご質問は銀泉書店の一角だと思いますが、ご指摘の通り、この地域は、まちの中の商業活性化や居住促進を推進する場所として、重要な場所として認識しています。

ただ、土地の所有者が非常に複雑であり、将来この土地の有効活用をどのように考えておられるかの意思確認が必要です。そのため「まちづくりセンター」を中心に、地主さんに対してアプローチをしているところです。しかし、あくまでも事業主体は地権者であり、まちの活性化に何処までご理解とご協力が得られるかに掛かっていると言えます。

今後、「まちづくりセンター」を中心に、市・商工会議所・地域の活性化を考えている経営者やコンサルタントなどの専門家にも加わっていただき、地権者の意向調査を行い、議論を深め具体的な提案をしていくことが必要だと考えています。

なお、これらの計画を進める上で、自治振興会をはじめ地元の皆様の絶大なるご支援ご協力が不可欠と考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

また、空き地利用につきましても、「まちづくりセンター」を中心に、個別に地権者への意向調査を行い、民間活力を有効に利用していきたいと考えています。

A8-2:総務部理事

有明交番は建築後40年が経過して老朽化も進み、また市民の方の駐車スペースも無く市民ニーズに十分対応が出来ないということで、警察においては、今の場所から移転したいということをお聞きしています。

移転先ですが、今の有明交番所は西地区になりますので、出来れば西地区の町内並びに小学校の近

くに移転をしたいという考えを持っておられるわけですので、ご理解をお願いします。

A8 - 3:市長

交番の設置等については、残念ながら、市が警察に対していろいろと申し上げる立場にはありません。駅前交番の受け持ちと広域的な観点で、違う場所を求めたいという計画であり、市としては、警察から要請があれば協力するという立場でしかありません。警備体制などの要望は市としても行っていますので、お気持ちは十分理解しますが、ご理解をお願いします。

閉会